

# 1. 水害リスクマップについて

# 水害リスク情報の充実(水害リスクマップ(浸水頻度図)の整備)

- 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進。
- 今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ(浸水頻度図)」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

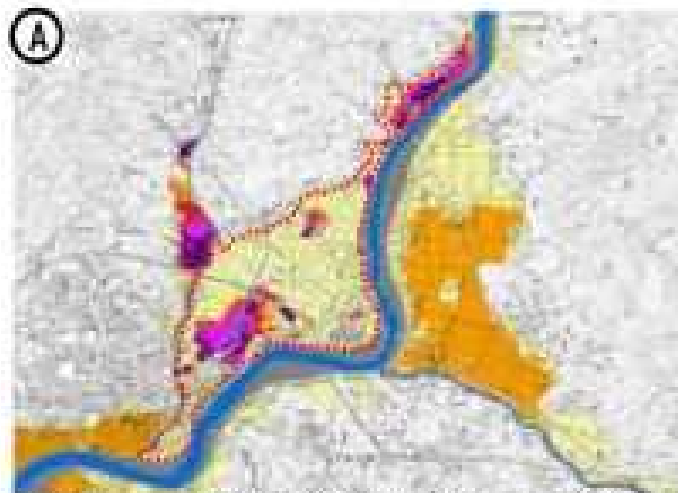
## 水害リスク情報の充実

## 水害リスクマップの活用イメージ

### ○水害ハザードマップ



### ○水害リスクマップ<sup>※1</sup>



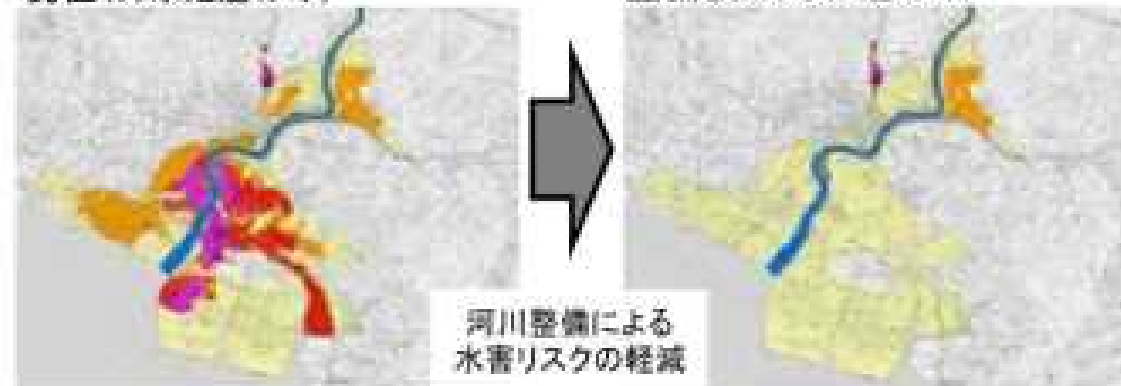
※2 上記凡例の「」内の数字は確率超過率を示していますが、これは例示です。

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在(外水氾濫のみ)

整備後(外水氾濫のみ)



河川整備による  
水害リスクの軽減

【令和4年度の国土交通省としての取組】

- ・全国109の一級水系において、外水氾濫を対象とした水害リスクマップの作成を完了させるとともに、先行して、特定都市河川や水災害リスクを踏まえた防災まちづくりに取り組む地区において、内水も考慮した水害リスクマップを作成

..... 内水氾濫浸水解析対象範囲

※1 自治体の水害リスクマップは地上浸水範囲(10m以上の浸水が想定される範囲)を示しています。(詳細図)

令和 4 年 12 月 14 日  
水管理・国土保全局河川環境課  
国土技術政策総合研究所河川研究部

## 河川氾濫による浸水の頻度を見える化（国管理河川）

～水害リスクマップ（浸水頻度図）のポータルサイトを開設～

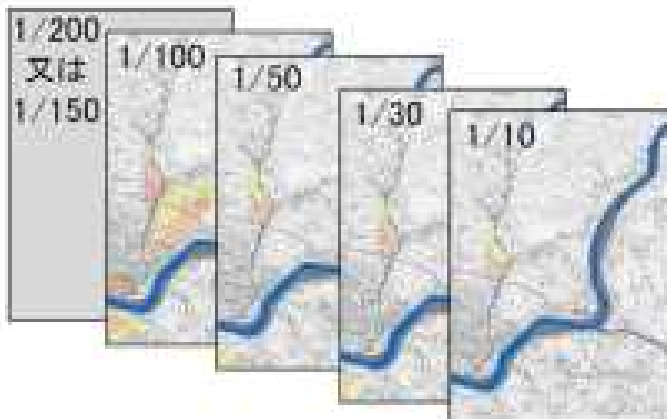
国土交通省では、これまで、住民の避難等を目的として、洪水ハザードマップのもととなる洪水浸水想定区域図（想定最大規模の洪水を対象）を作成・公表してきました。これに加え、今般、防災まちづくりや企業立地の参考となることを目的として、「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を作成し、ポータルサイトを開設しました。

水害リスクマップ（浸水頻度図）は、多段階の浸水想定図（発生頻度は小さいものの浸水範囲が広い大規模な洪水や、浸水範囲は狭いものの発生頻度が高い小規模な洪水など、様々な規模の洪水の浸水想定図）を重ね合わせたものであり、今回開設するポータルサイトでは、全国の国管理河川の水害リスクマップと多段階の浸水想定図をまとめて確認することができます。

今後、水害リスクを踏まえた、まちづくりや企業の立地選択等での更なる活用促進に向け、流域治水協議会等を通じて情報共有を図り、議論を深めてまいります。

※[https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki\\_pro/risk\\_map.html](https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/risk_map.html)

多段階の浸水想定図



- 高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎（年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100、1/150 又は 1/200）に作成した浸水想定図。
- 今回公表する図は、国管理河川からの氾濫による浸水のみを対象。

水害リスクマップ（浸水頻度図）



- 多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0.0m 以上、0.5m 以上（床上浸水以上）、3.0m 以上（1階軒下浸水以上））に重ね合わせて作成した図面。
- 今回公表する図は、国管理河川からの氾濫による浸水のみを対象。

※一定の条件下でのシミュレーション結果であり、雨の降り方や内水も含めた浸水形態によっては実際の浸水状況と異なる場合があります

### 【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室 水防企画官 白波瀬<sup>しらはせ</sup>、係長 岡安  
TEL：03-5253-8111（内線 35453、35456）直通：03-5253-8460 FAX：03-5253-1603  
国土技術政策総合研究所 河川研究部 水害研究室 主任研究官 武内、研究官 山本  
TEL：029-864-2211（内線 3582、3583）、直通：029-864-7627 FAX：029-864-2688

## 記載事項案（多段階の浸水想定図）

- 多段階の浸水想定図の記載事項（河川、規模、整備段階により異なるため一例を示す）

### 1. 説明文

- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率 $1/100$ （毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/100$ （1%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2) この浸水想定図は、現況の桂川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 $1/100$ （毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/100$ （1%））の降雨に伴う洪水により桂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和47年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

### 2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
- (2) 作成主体及び対象となる河川
  - ・国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所：淀川水系桂川
- (3) 実施区間  
【淀川河川事務所】
  - ・淀川水系桂川 左岸：京都府京都市右京区嵯峨亀ノ尾町無番地から淀川への合流点まで  
右岸：京都府京都市西京区嵐山元禄山町国有林38林班ル小班地先から淀川への合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率 $1/100$ （桂川流域の12時間の総雨量232mm）
- (5) 河道条件：現況
- (6) 関係市町村 京都市、向日市、長岡京市、八幡市、大山崎町、久御山町

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

赤字部分：河川（宇治川、木津川、桂川）により異なる。

青字部分：規模（河川により $1/10 \sim 1/150$ ）により異なる（（4）の雨量は河川によっても異なる）。

緑字部分：河道の整備段階（現況、短期、中期、中長期）により異なる（下記）。

現況、短期（令和7年度末）、中期（令和14年頃）、中長期（整備計画完了）

※国管理区間の整備のみ考慮しており、今後の事業進捗等によって変更となる場合があります。

# 記載事項案（水害リスクマップ）

- 水害リスクマップの記載事項（河川、規模、整備段階により異なるため一例を示す）

## 1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、**現況の桂川**の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、年超過確率1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により**桂川**が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（**昭和47年9月型**）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき**平成29年6月**に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

## 2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
- (2) 作成主体及び対象となる河川
  - 国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所：淀川水系**桂川**

### (3) 実施区間

#### 【淀川河川事務所】

- 淀川水系**桂川** 左岸：京都府京都市右京区嵯峨亀ノ尾町無番地から淀川への合流点まで  
右岸：京都府京都市西京区嵐山元禄山町国有林38林班ル小班地先から淀川への合流点まで

### (4) 算出の前提となる降雨

- 年超過確率1/10（桂川流域の12時間の総雨量148mm）
- 年超過確率1/30（桂川流域の12時間の総雨量187mm）
- 年超過確率1/50（桂川流域の12時間の総雨量206mm）
- 年超過確率1/100（桂川流域の12時間の総雨量232mm）
- 年超過確率1/150（桂川流域の12時間の総雨量247mm）

### (5) 河道条件：**現況**

- (6) 関係市町村 **京都市、向日市、長岡京市、八幡市、大山崎町、久御山町、島本町**

**赤字部分**：河川（宇治川、木津川、桂川）により異なる。  
**緑字部分**：河道の整備段階（現況、短期、中期、中長期）により異なる（多段階の浸水想定図の説明を参照）。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

## 多段階の浸水想定図（淀川）

計画規模以下では氾濫しないため、多段階の浸水想定図は作成していません。



# 水害リスクマップ（淀川）

計画規模以下では氾濫しないため、想定最大規模のみ表示しています。  
※公表済みの洪水浸水想定区域図（想定最大規模）の計算結果を基に作成しているため、  
現況、短期、中期、中長期は同じ図となっています。

